

兵庫県スポーツ推進計画の進捗状況[29年度]と30年度の取組

記者発表(資料配布)				
月 日	担当課室名 (担当係名)	TEL(内線) ダイヤル	発表者名 (担当係長名)	その他の発表先
8月6日(月)	教育委員会事務局 スポーツ振興課 健康福祉部障害福祉局 ユニバーサル推進課	5778(内線) 078-362-9446 3034(内線) 078-362-3237	スポーツ振興課長 長島良行 (競技・生涯スポーツ班主幹 岡本勇人) ユニバーサル推進課長 岡田英樹 (社会参加支援班主幹 逢坂昌弘)	県政記者クラブ

兵庫県スポーツ推進計画
基本計画

<平成24年12月策定>

(1) 計画の位置づけ

- スポーツ基本法第10条の規定(努力義務)に基づき、国の「スポーツ基本計画」を参酌して策定
- 平成24年度から平成33年度までの概ね10年間の兵庫県のスポーツ推進の基盤となる基本計画

(2) 基本理念

全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫のスポーツ文化の確立



一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会
「スポーツ立県ひょうご」の実現

(3) 推進施策の重点目標

基本理念を実現するためのスポーツ施策の5つの柱(5つの重点目標)を定め、それぞれについての基本的認識や目指すべき方向を示す。

- 重点目標1 スポーツをする子どもの増加と体力の向上
- 重点目標2 成人のスポーツ実施者の増加
- 重点目標3 競技力レベルの向上
- 重点目標4 障害のある人のスポーツ参加者の増加
- 重点目標5 手軽に参加できるスポーツ環境の整備

兵庫県スポーツ推進計画
実施計画

<平成25年3月策定>

(1) 計画の位置づけ

スポーツ推進計画(基本計画)に基づき、重点的に取り組むべき施策や目標について、具体的に10年間の長期的な目標と取組を示すことで、計画の実効性をより現実的なものにする。

(2) 内容

「今後の方向と目標」、「数値目標」、「施策の取組」を明記し、具体的な目標となるように対象や指標などをできる限り記載する。
[26指標51項目を設定]

(3) 検証・評価

「実施計画」並びに年度毎に実施される取組を記載した「主な取組(別冊)」について、「兵庫県スポーツ推進本部」において毎年度成果の評価・検証を行い、必要に応じて修正を加え、より効率的で効果的な施策を総合的に推進する。

進捗状況 [29年度] と30年度の取組

1 具体的な目標(51項目)の達成状況

具体的な目標(H29目標値)について、達成状況を4段階で評価

- ◎: 目標値を達成(達成率100%)
- : 目標値を概ね達成(達成率90%以上~100%未満)
- △: 目標値をやや下回った(達成率70%以上~90%未満)
- ▲: 目標値を下回った(達成率70%未満)

※ 重点目標5: 「身近に利用できるスポーツ施設の整備」
[文部科学省社会教育調査(H27年度調査でH28年度公表)]

重点目標		◎	○	△	▲	未調査
重点目標1	スポーツをする子どもの増加と体力の向上	7	12	8	0	0
重点目標2	成人のスポーツ実施者の増加	2	1	2	1	0
重点目標3	競技力レベルの向上	3	1	4	0	0
重点目標4	障害のある人のスポーツ参加者の増加	4	0	0	1	0
重点目標5	手軽に参加できるスポーツ環境の整備	1	2	0	1	1
合 計 (51項目)		17	16	14	3	1(※)
(参考) 28年度実績		16	18	15	2	0



重点目標毎の指標(主なもの)と29年度目標値及び実績値	29年度取組状況	29年度結果	平成30年度の主な取り組み内容									
重点目標1 スポーツをする子どもの増加と体力の向上 スポーツをする子どもの増加(中学生) (学校体育授業を除く、1日1時間以上) ◎又は○ <table border="1"> <tr> <td>29年度実績値</td> <td>78.4%</td> <td>29年度目標値</td> <td>86.0%</td> <td>29年度実績値</td> <td>78.0%</td> <td>29年度達成率</td> <td>90.7%</td> <td>◎</td> </tr> </table>	29年度実績値	78.4%	29年度目標値	86.0%	29年度実績値	78.0%	29年度達成率	90.7%	◎	・体育主任会等、会議や研修会において、児童生徒の運動実施率向上に向けた啓発を図るとともに、実技講習会を通じて教員の指導力向上を図った。 ・専門性に優れた体力アップサポーターを小学校に派遣することで、児童の運動習慣の定着を図った。	・スポーツをする子どもの割合は、27、28年度に比べ中学校、高等学校では、ほぼ横ばいに推移しているが、小学校では年々増加傾向にある。 ・男女別では、小学校・中学校・高等学校いずれの校種においても運動実施率は男子に比べて女子が低くなっている。	・専門性に優れたサポーターを小学校に派遣し、運動習慣の定着を図るとともに、引き続き幼稚園・小学校教員を対象とした、幼児期からの運動遊びを通じた運動習慣の形成を図る研修会等を開催する。 ・全県スポーツサミット等において、多世代(親子)で参加しやすいスポーツプログラムに関する研修・情報交換会を充実させるとともに、引き続き、各地区連絡協議会と連携し、多様な世代が参加できる魅力あるスポーツクラブの育成を推進する。 ◇幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業 「運動プログラム」(DVD)を活用した取組をもとに、指導内容及び指導方法の研修を行い、幼児期から小学校までの発達段階に配慮した運動及び運動遊びが実践されるよう指導力向上を図る。 ◇「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業 一人ひとりが健康でいきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現をめざし、「スポーツクラブ21ひょうご」を核にし、大学・企業と連携したスポーツイベント等を開催したり、親子で行うスポーツ大会等を実施する。
29年度実績値	78.4%	29年度目標値	86.0%	29年度実績値	78.0%	29年度達成率	90.7%	◎				
△又は▲ 親子で行うスポーツプログラムを実施する スポーツクラブ21ひょうごの増加 <table border="1"> <tr> <td>29年度実績値</td> <td>70.3%</td> <td>29年度目標値</td> <td>84.4%</td> <td>29年度実績値</td> <td>73.1%</td> <td>29年度達成率</td> <td>86.6%</td> <td>△</td> </tr> </table>	29年度実績値	70.3%	29年度目標値	84.4%	29年度実績値	73.1%	29年度達成率	86.6%	△	・「スポーツクラブ21ひょうご」全県スポーツサミット等の場を活用し、各地区の魅力あるスポーツプログラムの実践事例をスポーツクラブ関係者等に発信した。 ・「スポーツクラブ21ひょうご」地区連絡協議会と連携した、多様なプログラムによるスポーツイベントの開催によって、スポーツクラブの活性化を図った。	・29年度実施クラブ数の割合は、中播磨、淡路地区において実施するクラブ数が急増し、全体においても28年度より増加する結果となった。 ・実施するクラブ数の割合は年々増加傾向にあり、27年度との比較においては10%近い伸びを示している。	
29年度実績値	70.3%	29年度目標値	84.4%	29年度実績値	73.1%	29年度達成率	86.6%	△				

重点目標毎の指標（主なもの）と29年度目標値及び実績値		29年度取組状況	29年度結果	平成30年度の主な取り組み内容
重点目標2	◎又は○ 成人のスポーツ実施者の増加 年間を通じた成人のスポーツ実施率の増加（週3回）	<ul style="list-style-type: none"> 「ひょうごdeスポーツ推進月間」（10月～11月）での、街頭キャンペーン（県下10ヵ所）やスポーツ推進フォーラム等を通じた運動実施の啓発を行った。 誰もが気軽に参加できる生涯スポーツ大会数のオープン化を拡大し、スポーツ未実施者がスポーツに取り組みやすい環境づくりを推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 成人のスポーツ実施率は「週3回」で大きく増加し、目標を達成した。また、「週1回」についても増加しており、いずれも、27・28年度を上回る結果となった。 さらに、未実施者についても、目標値には至っていないものの、減少傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向け、誰もが参加できる生涯スポーツ大会数の拡大や女性スポーツを支援する新組織の創設を図るなど、スポーツ未実施者や女性が気軽に参画しやすい環境づくりを推進する。 県体育協会、県レクリエーション協会等との連携を図り、指導者講習会への受講を促すなど、人材養成に努めるとともに、養成した指導者が地域で活躍できる機会の拡充を推進する。 <p>◇ひょうごdeスポーツ推進月間（関西マスターズスポーツフェスティバル開催事業）</p> <p>10～11月を「ひょうごdeスポーツ推進月間」と位置づけ、街頭啓発キャンペーンやスポーツ体験コーナー設置等を通して、運動を始めるきっかけづくりや気軽にスポーツに参加できる環境づくりを推進する。</p> <p>◇スポーツリーダー養成講習会</p> <p>「スポーツクラブ21ひょうご」等の指導に必要な基本的知識を習得したスポーツリーダーを育成する。</p>
	△又は▲ 生涯スポーツ指導者数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 「スポーツクラブ21ひょうご」において、個人の競技レベルや年齢、性別に応じた指導にあたる指導員やクラブマネジメント知識を有するアシスタントマネージャー等の人材養成に、県体育協会との連携のもと取り組んできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ指導者数は、28年度に少し減少したものの、29年度は増加し、27年度を上回る結果を得るものの、目標値には至っていない。 指導員やアシスタントマネージャーの資格取得者は、増加傾向にある。 	
重点目標3	◎又は○ 競技力レベルの向上 ジュニアスポーツ教室等参加者数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 県体育協会や関係競技団体との連携のもと、才能ある選手の発掘・育成を目的としたジュニアスポーツ教室等を開催し、ジュニア層の更なる競技人口拡大及び競技力向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 29年度の参加者数は、28年度より微増した。関係競技団体の充実した取り組みにより、例年安定した参加者数となっている。 また、この人数は平成33年の最終目標値である7,000人も上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 県体育協会や関係競技団体との連携のもと、トップアスリート層の更なる強化や次世代の国体候補選手となるジュニア層や指導者のレベルアップ等とともに、高得点が期待される団体競技の強化を図っていく。 <p>◇第2期新兵庫県競技力向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニア層を対象としたトップアスリート等による特別強化事業 <p>将来、国体等で活躍が期待される中学生を対象に、トップアスリート等からの集中的なレッスンによる特別強化を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ指導者海外派遣補助事業 <p>有能な指導者を、高い競技実績を誇る国などへ派遣し、調査・研究を行なうとともに、本県の競技力及び指導力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民体育大会 団体競技強化プロジェクト <p>国体競技別総合成績で常時入賞している他府県の強豪チームとの強化試合・合宿や県内練習会を実施し、国体団体競技の強化を図る。</p>
	△又は▲ 国民体育大会天皇杯8位以内の継続	<ul style="list-style-type: none"> 県体育協会との連携のもと、国体8位以内入賞を目指した各競技団体への選手育成・強化支援や、特に得点が期待できる競技への重点的な強化を図るとともに、将来有望なジュニア層の発掘や強化、指導者の養成等を図り、全体的な競技力の底上げを図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 29年度（えひめ国体）での天皇杯（男女総合成績）順位は、12位にとどまった。 皇后杯（女子総合成績）では、ソフトボール成年女子・少年女子の活躍などにより、入賞まであと1.5点の9位と健闘を見せた。 	
重点目標4	◎又は○ 障害のある人のスポーツ参加者の増加 障害者スポーツ推進拠点の増加	<ul style="list-style-type: none"> 県全体で障害者スポーツを支援する枠組みづくりのため、大学や企業、団体との間で「障害者スポーツ応援協定」を締結した。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの拠点に加え、企業・大学等からも練習場所の提供を得ることができ、目標の33箇所に対し、2倍以上に相当する78箇所となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校やSC21ひょうご等への障害者スポーツ出前講座の実施や障害者スポーツ応援協定による企業・大学等との連携により、障害者スポーツの振興の充実を図る。 <p>◇障害者スポーツ出前講座の実施</p> <p>県内各所の学校、地域、SC21ひょうご等を対象に障害者スポーツ出前講座を実施し、障害者スポーツの導入と定着に向けた体制づくりを進める。</p> <p>◇障害者のじぎくスポーツ大会開催事業</p> <p>のじぎくスポーツ大会を開催し、障害者スポーツの一層の振興と障害者の社会参加、県民理解の促進を図る。</p> <p>◇障害者スポーツ応援協定締結団体との連携</p> <p>協定を締結している企業・大学・団体などと連携し、地域での障害者スポーツ振興を図る。</p>
	△又は▲ 障害者スポーツとの連携に取り組む「スポーツクラブ21ひょうご」の増加	<ul style="list-style-type: none"> 「SC21ひょうご」の代表者等が一堂に会する全県スポーツサミット等で、障害者スポーツの体験会等を実施し、障害者スポーツへの理解と各クラブへの導入を働きかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの「SC21ひょうご」で、障害者も気軽に参加できるグラウンドゴルフが実施されているが、障害者スポーツに取り組んでいるという認識が乏しく、実施率の調査では低率に止まっている。 	
重点目標5	◎又は○ 手軽に参加できるスポーツ環境の整備 国内外トップレベルスポーツ大会の開催数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 県体育協会と連携し、加盟競技団体に対し、国際大会や全国規模の大会の積極的な招致を促すとともに、「はばたきスポーツ基金」による財政等の支援や国内外で開催される大会情報の収集に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 29年度の大会数は、中・高年の国体と呼ばれる「日本スポーツマスターズ2017兵庫大会（13大会）」の開催もあり、大幅に実績値を伸ばした。 最終目標である80大会まであと2大会にまで迫った。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各競技団体との連携を密にし、国際大会・全国規模の大会の開催情報の収集や積極的な誘致活動を推進する。また、「はばたきスポーツ基金」を活用し、会場費等を補助することで、全国規模大会の開催を支援する。 全県スポーツサミット等で、大学・企業との取組事例紹介を通じ、連携の手法を共有するとともに、企業や大学に対して「ワールドマスターズゲームズ2021関西」参加促進を目的とした「スポーツクラブ21ひょうご」との連携チームの設立支援など、スポーツを通じた健康増進の福利厚生の中核としての「スポーツクラブ21ひょうご」を活用するよう促す。 <p>◇「はばたきスポーツ基金」活用事業</p> <p>「はばたきスポーツ基金」の運用益を活用し、全国規模大会の会場費等の補助を行なう。</p> <p>◇ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業</p> <p>ワールドマスターズゲームズへの県民参加促進のため、地域企業や大学とスポーツクラブ21との連携チーム設立支援やワールドマスターズゲームズ2021関西開催競技（団体競技）の新チーム設立支援等を実施する。</p>
	△又は▲ 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組む「スポーツクラブ21ひょうご」の増加	<ul style="list-style-type: none"> 全県スポーツサミット等での先進的な取組事例の紹介や各地区連絡協議会による大学・企業と連携したスポーツイベント等を開催した。 総合型地域スポーツクラブに関して専門的な見識を有するクラブアドバイザー（大学教員等）を市町に派遣し、指導・助言を行なうことで活性化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携に取り組むクラブ数は、年々、増加傾向にあり、29年度は、目標値には至っていないものの、これまで実施していなかったクラブでの実施や、特に神戸市が新たに66のクラブで連携を実施したこともあり、実施率は大幅に増加している。 	

スポーツ推進計画 年度比較 (27年～29年)

【重点目標1】スポーツをする子どもの増加と体力の向上			H23 実績		H27			H28			H29			H30		H33		前年度 比較						
1	スポーツをする子どもの増加 (学校体育授業を除く、1日1時間以上)	小学生	51.0		66.2	48.6	△	70.0	50.3	△	73.9	52.0	△	77.8										
		中学生	80.4	%	84.1	78.1	%	85.0	78.4	%	86.0	78.0	%	86.9	%	90.0	%							
		高校生	53.7		66.8	53.9		70.0	54.9		73.6	54.7		78.0										
2	子どもの体力を昭和60年頃の 水準と同等以上に する (100%水準に達しているものは 向上傾向を維持する)	小学生	握力	男	88.7		93.7	87.8	○	95.0	88.6	○	96.1	88.6	○	97.3	100.0							
				女	92.5		94.5	92.2	○	95.0	93.6	○	95.8	93.0	○	96.5	100.0							
			50m	男	100.6	%	100以上	99.2	%	100以上	100.0	◎	100以上	100.0	◎	100以上	100.0	%	100以上	%				
				女	99.2	%	99.8	98.8	%	100.0	98.9	%	100.1	97.9	%	100.2	100.0	%	100.0	%				
			ボール投	男	91.9		95.2	80.4		96.0	81.3		96.8	79.9		97.6	100.0							
				女	89.3		93.9	81.3		94.9	80.5		96.0	80.5		97.1	100.0							
		中学生	握力	男	94.5		96.5	92.3	○	97.0	91.1	○	97.6	92.4	○	98.2	100.0							
				女	98.1		99.6	95.3	○	100.0	95.3	○	100.2	94.9	○	100.4	100.0							
			50m	男	100.8	%	100以上	101.6	%	100以上	101.3	%	100以上	101.3	%	100以上	100.0	%	100以上	%				
				女	100.9	%	100以上	100.0	%	100以上	100.0	%	100以上	100.0	%	100.0	100.0	%	100.0	%				
			持久走	男	98.4		99.7	100.6	◎	100.0	99.7	◎	100.2	99.8	◎	100.3	100.0							
				女	98.7		99.4	99.4		100.0	99.4		100.1	99.3		100.3	100.0							
		ボール投	男	96.9		97.8	93.6		98.0	92.4		98.4	92.8		98.8	100.0								
			女	92.5		95.3	87.0		96.0	86.4		96.8	86.4		97.6	100.0			↓					
		高校生	握力	男	93.5		96.3	91.5	○	97.0	91.4	○	97.6	90.2	○	98.2	100.0							
				女	91.5		95.1	91.6	○	96.0	90.9	○	96.8	90.2	○	97.6	100.0							
			50m	男	101.7	%	100以上	102.2	%	100以上	102.7	%	100以上	101.4	%	100以上	100.0	%	100以上	%				
				女	100.2	%	100以上	99.6	%	100以上	101.1	%	100以上	101.1	%	100.3	100.0	%	100.0	%				
			持久走	男	101.2	%	100以上	102.0	%	100以上	101.9	%	100以上	102.0	%	100.3	100.0	%	100.0	%				
				女	98.6		99.7	99.6		100.0	98.7		100.1	100.3		100.3	100.0			↔				
		ボール投	男	95.2		97.4	94.3		98.0	93.9		98.4	91.7		98.8	100.0								
			女	91.0		94.6	84.8		96.0	83.7		96.8	84.3		97.6	100.0								
		3	学校における事故発生件数の減少	27849	件	21500	件	27110	件	△	20000	件	27461	件	△	18800	件	21179	件	△	17600	件	14000	件
		4	親子で行うスポーツプログラムを実施する「SC21ひょうご」の増加	56.0	%	75.2	%	64.4	%	△	80.0	%	70.3	%	△	84.4	%	73.1	%	△	88.0	%	100.0	%

【重点目標2】成人のスポーツ実施者の増加			H23 実績		H27			H28			H29			H30		H33		前年度 比較					
1	年間を通じた成人のスポーツ実施率の増加	週1回以上	58.4		63.7	64.1	◎	65.0	62.0	○	66.7	65.2	○	69.0	75.0								
		週3回以上	26.1	%	33.2	39.8	%	35.0	37.0	%	36.4	40.4	%	37.0	40.0	%							
		未実施	13.4		6.7	15.7		5.0	14.9		3.7	13.4		3.0	0.0								
2	「スポーツクラブ21ひょうご」会員数の増加	36.8	万人	43.5	万人	35.6	万人	△	45.0	万人	35.2	万人	△	47.0	万人	32.6	万人	▲	48.6	万人	55.0	万人	↓
3	生涯スポーツ指導者数の増加	11998	人	14400	人	12023	人	△	15000	人	11882	人	△	15600	人	12138	人	▲	16200	人	18000	人	
4	スポーツボランティア登録者数の増加	24517	人	32900	人	32941	人	◎	35000	人	37105	人	◎	38000	人	38059	人	◎	41000	人	50000	人	

【重点目標3】競技力レベルの向上			H23 実績		H27			H28			H29			H30		H33		前年度 比較					
1	国民体育大会天皇杯8位以内の継続	位	11	位	8	位	12	位	8	位	11	位以内	△	8	位	12	位以内	△	8	位	8	位以内	
		人	295	人 <td>380</td> <td>人 <td>364</td> <td>人 <td>400</td> <td>人 <td>344</td> <td>人 <td>420</td> <td>人 <td>321</td> <td>人 <td>440</td> <td>人 <td>500</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </td></td></td></td></td></td></td>	380	人 <td>364</td> <td>人 <td>400</td> <td>人 <td>344</td> <td>人 <td>420</td> <td>人 <td>321</td> <td>人 <td>440</td> <td>人 <td>500</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </td></td></td></td></td></td>	364	人 <td>400</td> <td>人 <td>344</td> <td>人 <td>420</td> <td>人 <td>321</td> <td>人 <td>440</td> <td>人 <td>500</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </td></td></td></td></td>	400	人 <td>344</td> <td>人 <td>420</td> <td>人 <td>321</td> <td>人 <td>440</td> <td>人 <td>500</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </td></td></td></td>	344	人 <td>420</td> <td>人 <td>321</td> <td>人 <td>440</td> <td>人 <td>500</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </td></td></td>	420	人 <td>321</td> <td>人 <td>440</td> <td>人 <td>500</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </td></td>	321	人 <td>440</td> <td>人 <td>500</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </td>	440	人 <td>500</td> <td>人</td> <td></td> <td></td>	500	人			
2	ジュニア全国大会入賞者数の増加	295	人	380	人	364	人	○	400	人	344	人	△	420	人	321	人	△	440	人	500	人	
3	ジュニアスポーツ教室等参加者数の増加	5913	人	6390	人	7528	人	◎	6500	人	7524	人	◎	6600	人	7536	人	◎	6700	人	7000	人	
4	競技スポーツ指導者数の増加	4445	人	5290	人	4621	人	△	5500	人	4856	人	△	5800	人	4954	人	△	6100	人	7000	人	
5	国内外で活躍する本県選手数の増加	424	人	484	人	395	人	△	500	人	415	人	△	520	人	400	人	△	540	人	600	人	
6	拠点施設を有する競技団体の増加	7	団体	21	団体	18	団体	△	25	団体	18	団体	△	28	団体	27	団体	○	31	団体	40	団体	↔
7	ドーピング違反者「0」の維持	0	人	0	人	0	人	◎	0	人	0	人	◎	0	人	0	人	◎	0	人	0	人	
8	アンチ・ドーピング研修会への参加者数の増加(累計人数)	1034	人	累計2,600	人	2788	人	◎	累計3,000	人	3204	人	◎	累計3,400	人	3710	人	◎	累計3,800	人	5000	人	

【重点目標4】障害のある人のスポーツ参加者の増加			H23 実績		H27			H28			H29			H30		H33		前年度 比較					
1	全県域を対象としたスポーツ大会の参加選手数の増加	人	9317	人	11400	人	13294	人	◎	12000	人	18323	人	◎	12600	人	26882	人	◎	13200	人	15000	人
		%	1.3	%	19.9	%	4.0	%	▲	25.0	%	8.5	%	▲	30.0	%	15.5	%	▲	34.7	%	50.0	%
2	障害者スポーツとの連携に取り組むSC21ひょうごの増加	1.3	%	19.9	%	4.0	%	▲	25.0	%	8.5	%	▲	30.0	%	15.5	%	▲	34.7	%	50.0	%	
3	障害者スポーツ推進拠点の増加	9	箇所	25	箇所	52	箇所	◎	30	箇所	71	箇所	◎	33	箇所	78	箇所	◎	36	箇所	45	箇所	
4	国内外の選手権大会等の上位入賞者の増加	72	人	87	人	134	人	◎	90	人	156	人	◎	92	人	123	人	◎	94	人	100	人	
5	障害者スポーツサポーターへの参加者数の増加	2196	人	2800	人	8643	人	◎	3000	人	11920	人	◎	3200	人	12216	人	◎	3400	人	4000	人	

【重点目標5】手軽に参加できるスポーツ環境の整備			H23 実績		H27			H28			H29			H30		H33		前年度 比較					
1	大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むSC21ひょうごの増加	%	2.8	%	23.0	%	11.7	%	▲	30.0	%	16.7	%	▲	34.0	%	23.6	%	▲	38.0	%	50.0	%
		人	64.2	%	77.0	%	71.5	%	○	80.0	%	71.9	%	○	84.0	%	72.1	%	○	88.0	%	100.0	%
2	体育施設の開放に取り組む公立学校の増加	64.2	%	77.0	%	71.5	%	○	80.0	%	71.9	%	○	84.0	%	72.1	%	○	88.0	%	100.0	%	
3	身近に利用できるスポーツ施設の整備	1771	施設	1830	施設	※	施設	—	1850	施設	1697	施設	○	1860	施設	※	施設	—	1870	施設	1900	施設	
4	気軽に参加できる生涯スポーツ大会数の増加	47	大会	71	大会	70	大会	○	75	大会	71	大会	○	80	大会	75	大会	○	85	大会	100	大会	
5	国内外トップレベルスポーツ大会の開催数の増加	46	大会	62	大会	63	大会	◎	65	大会	65	大会	◎	68	大会	78	大会	◎	71	大会	80	大会	

※「身近に利用できるスポーツ施設の整備」: 文部科学省社会教育調査(H27年度調査でH28年度公表)

<達成評価>
◎: 目標値を達成 (達成率100%)
○: 目標値を概ね達成 (達成率90%以上～100%未満)
△: 目標値をやや下回った (達成率70%以上～90%未満)
▲: 目標値を下回った (達成率70%未満)